

A0191	ED75-759 仙台機関区	予価:6,800円(税別)
		JANコード:102824 カートン内入数:24

A0197	ED79-13 青函運転所	予価:6,800円(税別)
		JANコード:102886 カートン内入数:24

商品形態	Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 単品プラケース入り)
実車	ED75は交流電気機関車の標準型として合計302両が製造されました。基本となる0番台、高速型1000番台、奥羽本線向け700番台などに大別されます。700番台は1971(昭和46)年から91両が製造されたグループで、塩害対策が強化されて屋上機器配置が変更されたほか、下枠交差式パンタグラフが採用されたのが外見上の特徴です。現在700番台は全機がJR東日本に承継され、仙台車両センターと秋田車両センターに配置されたグループが工事列車や甲種輸送列車などの牽引に活躍しています。 ED79は青函トンネルを通過する列車を牽引するためにED75-700番台から34両が改造されて登場した機関車です。本務機用0番台が21両、補機用100番台は13両が登場しました。最盛期には旅客列車・貨物列車を問わず縦横無尽の活躍をしましたが、近年ではJR貨物の後継車であるEH500型の増備にともなってJR北海道が保有するED79型は貨物運用からは撤退し、主に寝台特急列車などの牽引に活躍を続けています。
商品概要	・マイクロエース電気機関車シリーズの更なる充実 ・ヘッドライト点灯。LED使用。ON-OFFスイッチ付 ・フライホイール付動力ユニット搭載

赤2号の交流電気機関車



- ・カプラー解放テコを別部品にて取付
- ・電暖表示灯を別部品にて取付

JR東日本商品化許諾済

赤2号のボディ。JRマーク付



- ・カプラー解放テコを別部品にて取付
- ・電暖表示灯を別部品にて取付
- ・グレー、黒の2色のHゴムを再現
- ・「海峡」ヘッドマーク付属
- ・同時発売のA4352 50系5000番台客車の牽引機に好適

JR北海道商品化許諾済

オプション	なし
付属品	ヘッドマーク(A0197のみ)